

参考資料

●用語解説	45
●「循環器病」及び「がん」分野の解説	47
●目標値設定の考え方	51
●平成18年宮城県県民健康・栄養調査の概要	54
●みやぎ21健康プラン推進協議会条例・委員名簿	56
●みやぎ21健康プラン見直し検討会設置要綱・構成員名簿	58
●みやぎ21健康プラン（改定版）策定の経過	60

用語解説

○メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）

平成17年4月に日本動脈硬化学会、日本糖尿病学会等の8学会において、その概念と診断基準が示されたもので、内臓脂肪が蓄積することによって、血圧、血糖が高くなったり、血中の脂質異常を起こしたりして、食事や運動などの生活習慣を改善しなければ、心筋梗塞や脳卒中などが起こりやすくなる状態のこと。

(参考)

〈メタボリックシンドロームの診断基準〉

(日本動脈硬化学会、日本糖尿病学会、日本高血圧学会、日本肥満学会、日本循環器学会、日本腎臓病学会、日本血栓止血学会、日本内科学会 2005年4月)

内臓脂肪蓄積に加え、下記の2つ以上の項目に該当する場合。

(*該当するとは、下記の基準を満たしている場合、かつ／または服薬がある場合)

- ①腹囲（ウエスト周囲径）
【男性：85cm以上 女性：90cm以上】



②血糖

- ・空腹時血糖値110mg/dl以上
- ・糖尿病に対する薬物治療

③血圧

- ・収縮期血圧130mmHg以上かつ
または拡張期血圧値85mmHg以上
- ・高血圧に対する薬物治療

④血中脂質

- ・中性脂肪値150mg/dl以上
- ・HDLコレステロール値40mg/dl未満
- ・高トリグリセライド血症に対する
薬物治療
- ・低HDLコレステロール血症に対する
薬物治療

*なお、平成18年県民健康・栄養調査では、空腹条件での採血が困難なため、上記のメタボリックシンドローム診断基準項目である②空腹時血糖値及び④中性脂肪値の検査値は用いていない。

そのため、判定方法は、②については、ヘモグロビンA1c、④については、HDLコレステロールにより行っている。（「都道府県健康・栄養調査マニュアル」（平成18年6月 厚生労働省健康局総務課生活習慣病対策室）による）

○メタボリックシンドローム予備群

ウエスト周囲径（男性85cm以上、女性90cm以上）かつ、次の3項目のうち1つに該当する者。

- ①中性脂肪値150mg/dl以上、または、HDLコレステロール値40mg/dl未満、もしくはコレステロールを下げる薬服用
- ②収縮期血圧値130mmHg以上、かつ／または拡張期血圧値85mmHg以上、もしくは血圧を下げる薬服用
- ③空腹時血糖値110mg/dl以上、または、ヘモグロビンA1c値5.5%以上、もしくはインスリン注射または血糖を下げる薬服用

○メタボリックシンドローム該当者

ウエスト周囲径（男性85cm以上、女性90cm以上）かつ、次の3項目のうち2つ以上に該当する者。

上記①～③と同じ

○肥満者（BMIと腹囲による）

下記の①から③の該当者の合計。

- ① BMIが25以上で腹囲男性85cm以上、女性90cm以上
- ② BMIのみ25以上
- ③ 腹囲のみ基準値以上

○糖尿病予備群・有病者

予備群：空腹時血糖110mg/dl以上126mg/dl未満、またはヘモグロビンA1c 5.5%以上6.1%未満の者。ただし、インスリン注射または血糖を下げる薬の服用者を除く。

有病者：空腹時血糖126mg/dl以上、またはヘモグロビンA1c 6.1%以上であるか、インスリン注射または血糖を下げる薬を服用している者。

○高血圧症予備群・有病者

予備群：①収縮期血圧が130mmHg以上140mmHg未満、かつ拡張期血圧が90mmHg未満である者。

②収縮期血圧が140mmHg未満かつ拡張期血圧が85mmHg以上90mmHg未満である者。

ただし、血圧を下げる薬の服用者を除く。

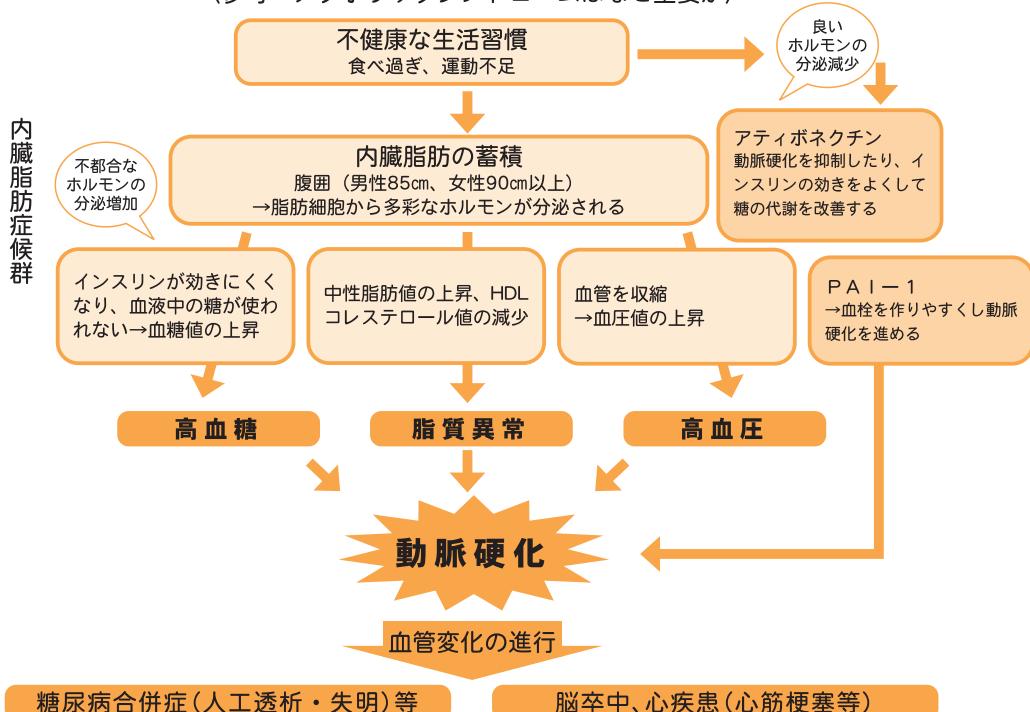
有病者：収縮期血圧が140mmHg以上、または拡張期血圧が90mmHg以上の者、もしくは血圧を下げる薬を服用している者。

○脂質異常症（高脂血症）有病者

中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、またはLDLコレステロール140mg/dl以上、もしくはコレステロールを下げる薬を服用している者。

(注) 上記の基準は、「都道府県健康増進計画改定ガイドライン」（平成19年10月厚生労働省健康局）の「都道府県健康増進計画参照標準」の定義に基づくもの。

〈参考：メタボリックシンドロームはなぜ重要なか？〉



資料：「保健指導における学習教材集」より